

長島文芸

ながしまぶんげい

長島短歌会

新聞を配達されしタイヤ跡朝光及び新雪まぶし
 さざなみの渚に貝を掘る人ら車窓に見つつ過ぎし昔よ
 わが部屋の軒近く来て鳴く鴉連れ合い呼ぶか庭木離れず
 暮れ行きて港の漁船うす明る寒の満月窓越し揺るる
 中空に鳴き声高く鶴見へて思はず手をあげお帰りと呼ぶ
 痛む肩さすりつつ白き窓を開くしみじみ降り積む元旦の雪
 強風にあおられ揺るる大輪の皇帝ダリヤ危ぶみ仰ぐ

中山タマエ
 浜田美代子
 浜畑 松枝
 岩下ち江
 樫平 頼子
 米尾 和子
 坂之下典子

一般作品

長島を離れて遠きインド洋ここは美の島名はスリランカ
 年明けてコロナ平穏と願ひ込む拜む初日がまばゆく光る
 人も来ぬ園の水仙揺らぎつつ桜咲く日はいまだ遠き日
 さつぱりと葉をみな落とし桜木の銀色の幹冬も美し
 五歳孫ごめんなさいと言うときはみるみる涙赦すよりなし
 思ふ事身体動かぬ辛い事生きたく無いや仕方ないかな
 かしこまり朝の薬を頂きぬ〔俳句〕

小林 貢
 小林 如月
 中飯屋辰子
 後藤ヨシエ
 母木 良平
 町田 末則
 宗方 清明

長島の

歌人集まる

広場あり

明神俳句会

行き摺りに手を貸し行けり冬帽子 白男川孝仁 決断に迷う暇なし冬の雷
 冬の雷槓の柱の隠し鋸 二階堂妙子 雲とぎす天草灘より冬の雷
 ゆふぐれの猫振りむかず冬小径 山寄加代子 我が計も儘ならずはや十二月
 手を振りて見送る母やマスク顔 大堂 早苗 挨拶に戸惑うマスク深帽子
 コロナ禍のシャッター通りや十二月 関 佳代美 潮鳴りや一重水仙咲き継ぐよ
 肥後 広行
 二階堂恵子
 関 喜久雄
 大堂 正弘
 迫口 君代

町立図書館のおすすめ

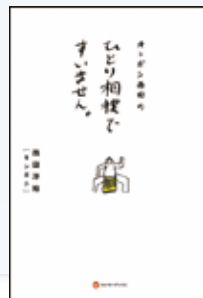
図書館に置いてある本の中から、おすすめを選びました。バラエティに富んだ本を紹介します。



声優さんっていいな

作：如月かずさ

お話を楽しみながら、あこがれの仕事
 事が分かる本です。職業への理解が
 さらに深まる「まめちしき」もあります。



キンボシ西田の ひとり相撲ですいません

著：西田淳裕

著者が力士たちから得た情報が満
 載。相撲好きはもちろん、あまり興味
 がないかたでも楽しめます。

町立 指江図書館 ☎ 0996-88-6500

町立 鷹巣図書館 ☎ 0996-86-1111